



左:坂本橋/右:球磨川坂本地区河川防災ステーション



名瀬第二地方合同庁舎



海の中道海浜公園

2026 事業概要



国土交通省 九州地方整備局



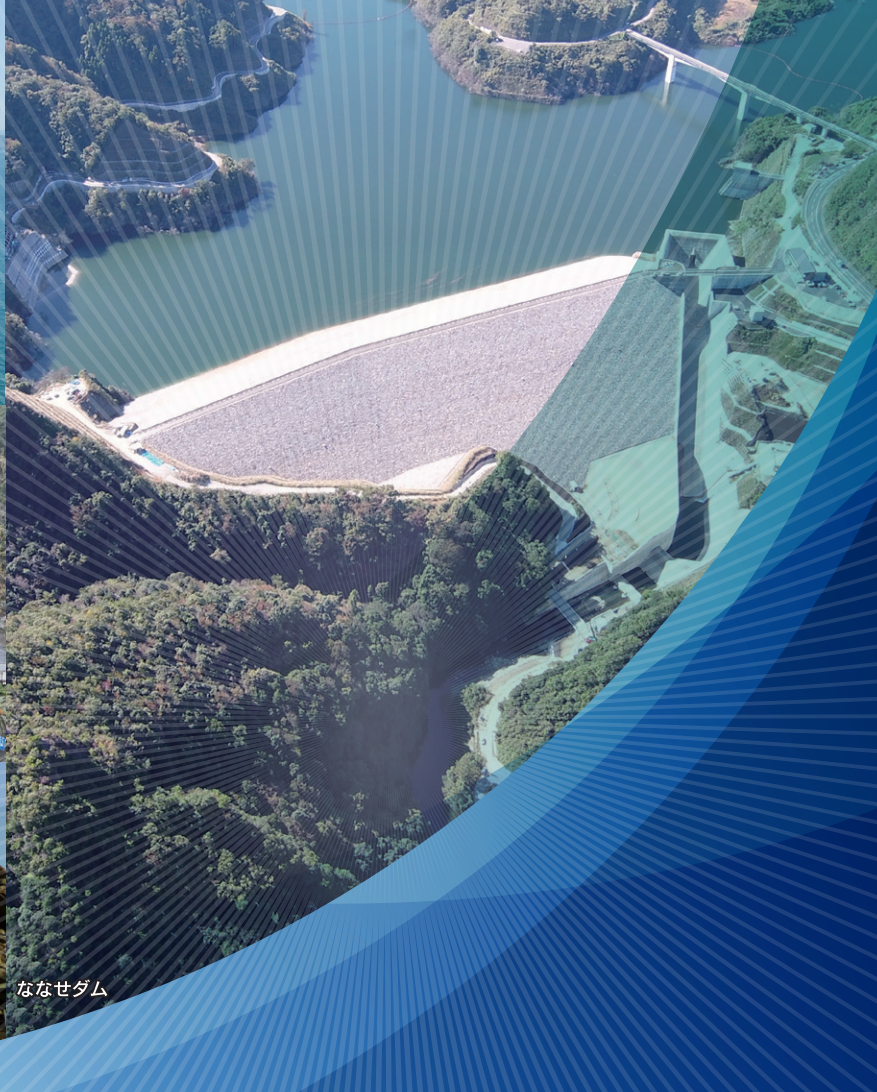
鹿児島港臨港道路



西九州自動車道



吉野ヶ里遺跡



ななせダム

管内関係位置図

河川・ダム・砂防・海岸関係位置図



凡例		
直轄管理区間		
ダム(直轄)	完成	
	建設中	
	治水機能増強検討調査	
ダム(水機構)	完成	
堰(直轄)	完成	
堰(水機構)	完成	
導水路	完成	
	建設中	
直轄砂防事業区域		
直轄海岸事業区域		

九州地方における県別所管概要

県名	一級河川			二級河川				砂防指定地			海岸保全区域 (水管理・国土保全局)			海岸保全区域 (港湾局)		
	関係水系数	河川延長(km)		水系数	河川数	河川延長(km)	流域面積(km ²)	直轄(国)	直轄面積(ha)	補助面積(ha)	全延長(km)	直轄(国)	直轄延長(km)	全延長(km)	直轄(国)	直轄延長(km)
指定区間外	指定区間	合計														
山口県														340.48	下関港	12.02
福岡県	3	263.5	1,039.1	1,302.6	52	149	876.0	1,833		4,182.89	73.89			87.34		
佐賀県	3	220.1	856.3	1,076.4	60	174	509.3	715		1,789.84	15.11			52.13		
長崎県	1	21.9	114.3	136.2	210	341	1,026.1	2,225	雲仙	351.42	3,829.18	327.21		381.67		
熊本県	4	297.7	1,436.8	1,734.5	81	148	627.0	1,535	球磨川	856.76	11,983.11	125.12		164.97		
									阿蘇山	86.41						
大分県	4	196.5	1,880.3	2,076.8	93	211	988.7	1,902		9,418.56	55.11			116.47	大分港	21.37
宮崎県	3	145.0	1,363.9	1,508.9	53	239	1,285.1	3,616	大淀川	167.32	5,437.49	29.25	宮崎	6.86		
鹿児島県	2	165.0	713.1	878.1	160	310	1,780.4	4,682	桜島	1,002.65	8,695.13	191.98		206.60	指宿港	1.80
合計	20水系	1309.7	7,403.8	8,713.5	709	1,572	7,092.6	16,508		2,464.56	45,336.20	817.67	6.86	1,379.79		35.19

出典：一級河川・二級河川：令和6年度河川管理統計（国土交通省水管理・国土保全局水政課）

砂防指定地：直轄 砂防指定地面積調査（令和8年1月末時点）

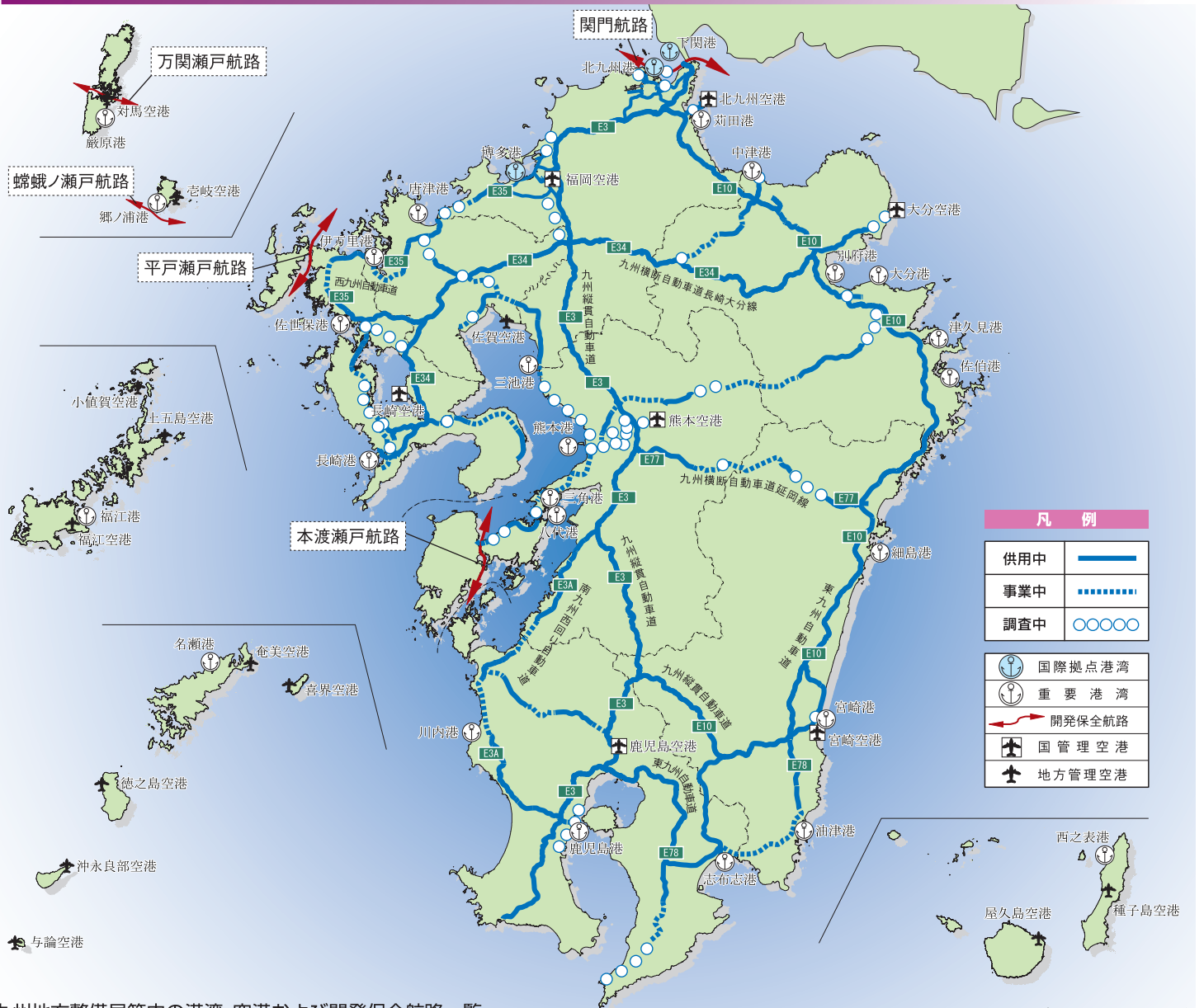
補助 砂防便覧令和4年度版

海岸保全区域：海岸統計令和5年度版

※指定区間外：国が管理する区間

※ 地方公共団体が管理する区間

港湾・空港・道路関係位置図



凡例

供用中	——
事業中
調査中	○ ○ ○ ○
	国際拠点港湾
	重要港湾
	開発保全航路
	国管理空港
	地方管理空港

九州地方整備局管内の港湾・空港および開発保全航路一覧

令和7年4月1日現在

種別	港 湾				空 港			開発保全航路
	国際拠点港湾	重要港湾	地方港湾	56条港湾	拠点空港	地方管理空港	その他空港	
下関市	下関							関門航路
福岡県	博多・北九州	三池・苅田	5		北九州・福岡			
佐賀県		唐津・伊万里	7			佐賀		平戸瀬戸航路・嵯峨ノ瀬戸航路・万関瀬戸航路
長崎県		長崎・佐世保・福江・厳原・郷ノ浦	77	22	長崎	壱岐・福江・小値賀・対馬・上五島		
熊本県		熊本・八代・三角	23		熊本		天草	本渡瀬戸航路
大分県		大分・別府・中津・佐伯・津久見	13	2	大分		大分県央	
宮崎県		宮崎・細島・油津	12	1	宮崎			
鹿児島県		鹿児島・川内・志布志・名瀬・西之表	126		鹿児島	種子島・屋久島・奄美・沖永良部・喜界・徳之島・与論		
管内計	3	25	263	25	7	13	2	5

道路の管理延長(道路種類別)

道路区分	全国 実延長 (km)	九州 実延長 (km)	福岡県 実延長 (km)	佐賀県 実延長 (km)	長崎県 実延長 (km)	熊本県 実延長 (km)	大分県 実延長 (km)	宮崎県 実延長 (km)	鹿児島県 実延長 (km)	北九州市 実延長 (km)	福岡市 実延長 (km)	熊本市 実延長 (km)	
高速自動車道	9,235	1,028	153	78	46	123	191	220	142	49	2	24	
国道	指定区間	24,225	2,422	410	240	218	273	340	312	444	40	78	67
	指定区間外	31,933	5,219	522	392	773	891	717	869	854	130	34	37
県道	主要地方道	57,904	7,755	1,400	547	825	1,054	988	967	1,620	153	92	109
	一般県道	72,027	9,751	1,606	723	852	1,578	1,542	1,052	1,935	98	149	216
市町村道	1,035,760	133,771	25,612	9,100	15,403	18,417	14,905	16,856	22,525	3,890	3,635	3,428	
合計	1,231,085	159,946	29,703	11,080	18,118	22,337	18,682	20,275	27,519	4,360	3,990	3,880	

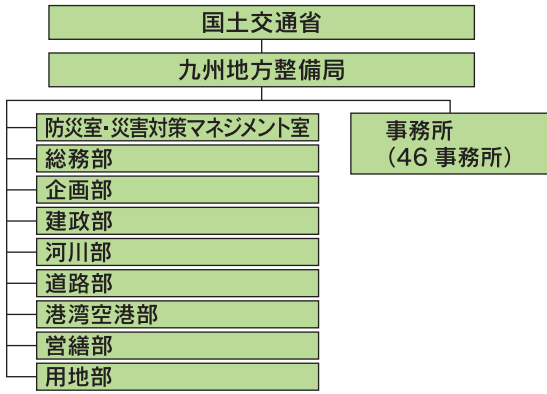
※延長は、2024年版道路統計年報による

※指定区間外：一般国道のうち、都道府県及び政令市が担当する区間

※端数処理の関係で合計が合わない場合がある

組織のご案内

● 組織図



● 組織数

本局	
部	8
課・室	50
事務所	46
河川・道路関係事務所	8
河川関係事務所	13
道路関係事務所	7
港湾空港関係事務所	14
営繕関係事務所	2
公園関係事務所	1
技術事務所	1

● 局・事務所位置図

★ 国土交通省 九州地方整備局

河川・道路関係事務所 (8箇所)

- 1 長崎河川国道事務所
- 2 熊本河川国道事務所
- 3 八代河川国道事務所
- 4 大分河川国道事務所
- 5 佐伯河川国道事務所
- 6 宮崎河川国道事務所
- 7 延岡河川国道事務所
- 8 大隅河川国道事務所

河川関係事務所 (13箇所)

- 9 筑後川河川事務所
- 10 遠賀川河川事務所
- 11 武雄河川事務所
- 12 佐賀河川事務所
- 13 本明川ダム工事事務所
- 14 菊池川河川事務所
- 15 川辺川ダム砂防事務所
- 16 阿蘇砂防事務所
- 17 山国川河川事務所
- 18 川内川河川事務所
- 19 筑後川ダム統合管理事務所
- 20 緑川ダム管理所
- 21 鶴田ダム管理所

道路関係事務所 (7箇所)

- 22 福岡国道事務所
- 23 北九州国道事務所
- 24 有明海沿岸国道事務所
- 25 佐賀国道事務所
- 26 八代復興事務所
- 27 鹿児島国道事務所
- 28 九州道路メンテナンスセンター

港湾空港関係事務所 (14箇所)

- 29 下関港湾事務所
- 30 北九州港湾・空港整備事務所
- 31 博多港湾・空港整備事務所
- 32 苅田港湾事務所
- 33 唐津港湾事務所
- 34 長崎港湾・空港整備事務所
- 35 熊本港湾・空港整備事務所
- 36 別府港湾・空港整備事務所
- 37 宮崎港湾・空港整備事務所
- 38 鹿児島港湾・空港整備事務所
- 39 西之表港湾事務所
- 40 志布志港湾事務所
- 41 関門航路事務所
- 42 下関港湾空港技術調査事務所

営繕関係事務所 (2箇所)

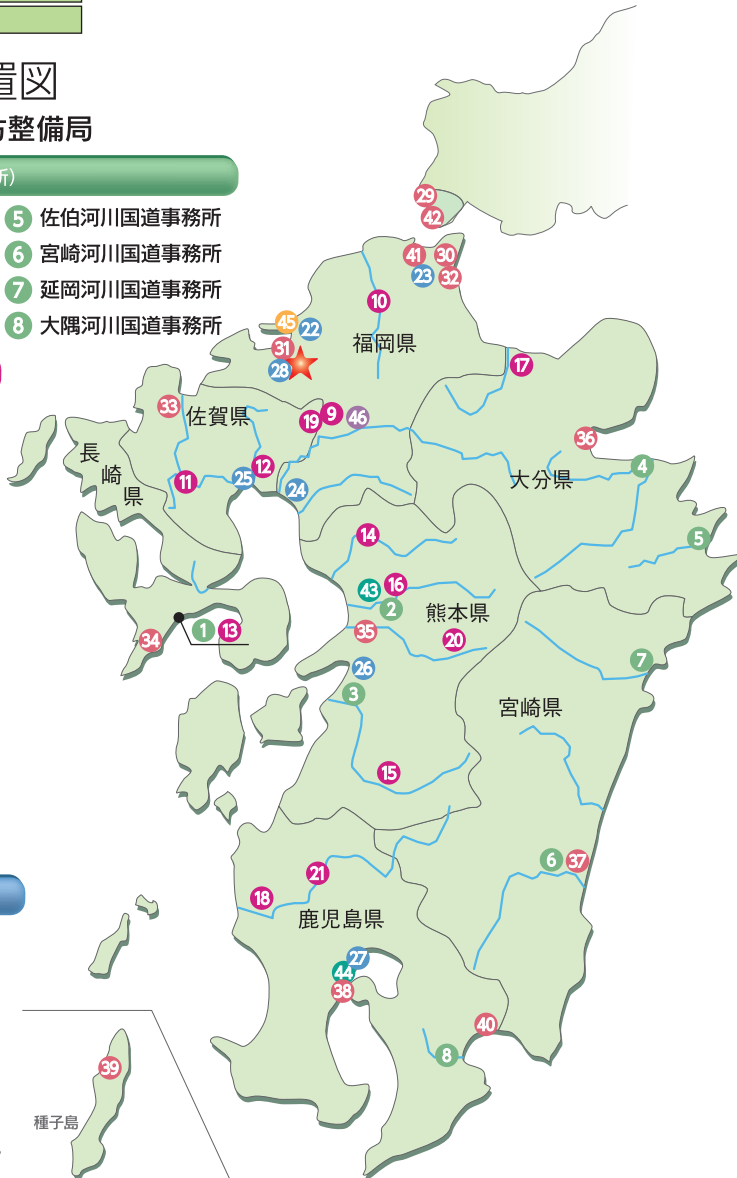
- 43 熊本営繕事務所
- 44 鹿児島営繕事務所

公園関係事務所 (1箇所)

- 45 国営海の中道海浜公園事務所

技術事務所 (1箇所)

- 46 九州技術事務所



国土交通省九州地方整備局

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号 福岡第二合同庁舎 TEL.092(471)6331(代)

ホームページ <https://www.qsr.mlit.go.jp/> Eメール qsr-kikaku@ki.milt.go.jp

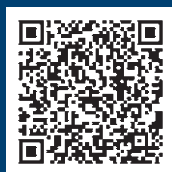
みなさまの声を聞かせてください。九州地方整備局ホームページ「お問い合わせ」で受け付けています。



九州地方整備局
お問い合わせ



九州地方整備局
X(旧 Twitter)



九州地方整備局
YouTube



九州地方整備局
Instagram



流域治水の加速化・深化

流域治水の推進

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダムの建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域※1 から氾濫域※2 にわたる流域の国・県・市町村・企業・住民等のあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う「流域治水」の加速化・深化を図り、「水災害による被害の最小化」を実現します。

※1 集水域：雨水が河川に流入するエリア ※2 氾濫域：河川等の氾濫により浸水が想定されるエリア

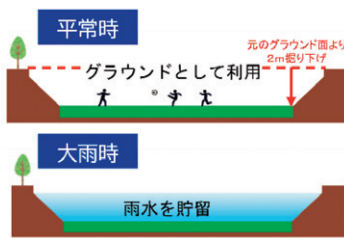
九州における流域治水の取組事例

雨水貯留施設の整備

福岡県久留米市により、大学のグラウンドを活用した雨水貯留施設が整備されました。



久留米大学グラウンドでの雨水貯留施設（筑後川水系）



水害リスクが高い地域からの移転

移転先確保のための災害公営住宅や新たな宅地等の整備と連携して河川整備（引堤・遊水地）を実施しています。



河川整備と連携した水害リスクが高い地域からの移転（球磨川水系）

流域治水の基本的な考え方



流域治水の自分事化

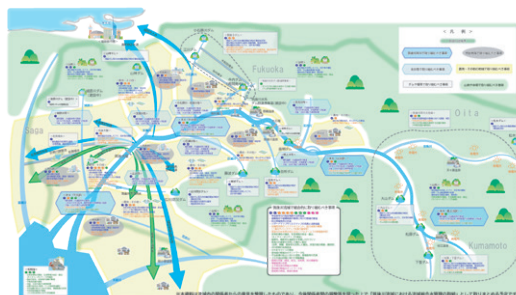
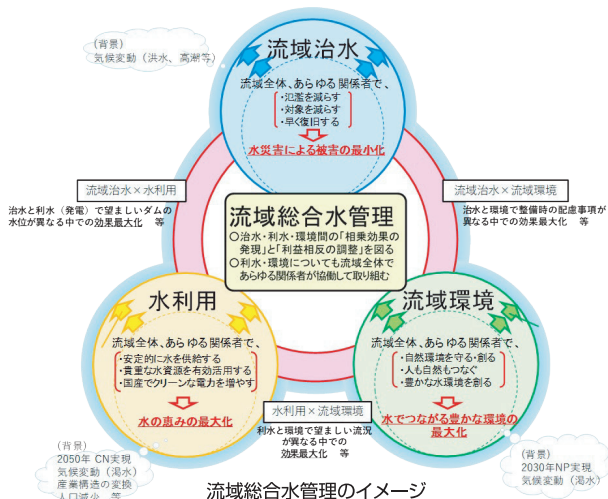
流域内の企業や住民等に対して、水災害時の避難行動計画（マイ・タイムライン）や事業継続計画の作成支援といった流域治水への理解を深める取組を自治体や河川協力団体等と連携して行っています。



流域総合水管理の推進

流域治水・水利用・流域環境の一体的な取組の推進

治水に加え、利水・環境に対しても流域全体であらゆる関係者が協働して取り組むとともに、流域治水・水利用・流域環境の一体的な取組を進めることで「水災害による被害の最小化」「水の恵みの最大化」「水でつながる豊かな環境の最大化」を実現させる「流域総合水管理」を推進します。九州では、先行して、筑後川水系において流域総合水管理の取り組みを進めており、令和7年度は、流域のあらゆる関係者との意見交換を基に、筑後川での取組イメージを取りまとめました。



筑後川における流域総合水管理の取組イメージ



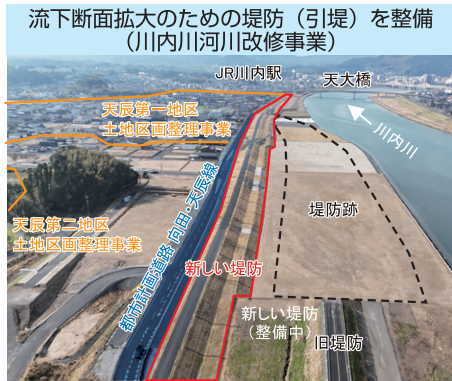
筑後川流域水懇談会(令和7年3月設置)による議論

防災・減災、国土強靱化の着実な推進

近年の気候変動の影響により激甚化・頻発化する水災害や切迫する地震災害に屈しない強靱な国土づくりに向け、九州地方整備局では「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を着実に進めます。

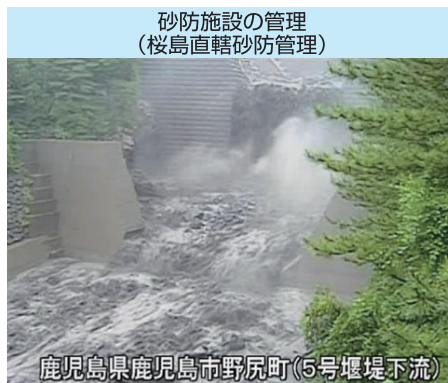
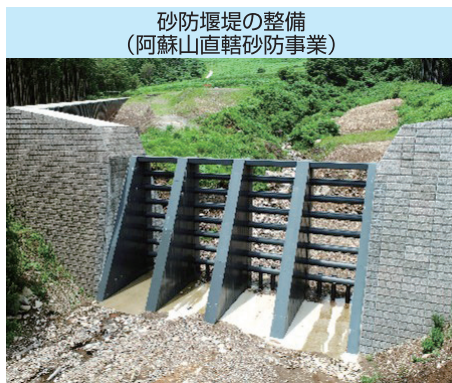
水害の頻発・激甚化に対応する治水対策の推進

安全・安心を確保し、社会経済の活力を維持・増進していくため、激甚な水害が発生した地域において、集中的に防災・減災対策を実施します。また、想定される被害状況を踏まえ、治水安全度の抜本的な向上を早期に図るため、事前防災対策などの治水対策も重点的に実施します。



総合的な土砂災害対策の推進

集中豪雨の増加や火山噴火等により激甚化・頻発化する土砂災害に対して、ハード・ソフト一体となった総合的な対策を実施します。



海岸侵食対策の推進

侵食が進行している宮崎海岸において侵食対策を実施します。



次の世代へ繋ぐ魅力ある川づくり

河川環境の保全・創出

河川の整備においては、各流域の特性に応じた多様な生物の生息・生育・繁殖環境の場を保全、創出します。



アユの産卵場となる良好な環境を創出するため、加藤清正公が約400年前に築造したと言われる「八の字堰」を復元

水辺を活かしたまちづくり(かわまちづくり)

地域や自治体等と連携し、まち空間と融合した魅力的な河川空間の整備・活用等を行い、地域の賑わい創出を推進します。



公園・営繕

公園事業

地域活性化に寄与する「国営公園」の整備・管理

九州には海の中道海浜公園（福岡県福岡市）と国営吉野ヶ里歴史公園（佐賀県神埼市・吉野ヶ里町）の2つの国営公園があります。海の中道海浜公園では豊かな自然環境を活かした広域レクリエーション拠点として、国営吉野ヶ里歴史公園では優れた文化的資産を活かした歴史・文化の体験・発信拠点として、地域活性化に寄与する整備・管理運営を推進しています。

海の中道海浜公園



広大なネモフィラ畑など、魅力的な花修景の形成



イベントの開催地として活用
写真は風揚げフェスティバル

公募設置管理制度 (Park-PFI) を活用し、官民連携で宿泊施設等を整備・管理運営

国営吉野ヶ里歴史公園



歴史体験・学習の場として活用



イベントの開催地として活用
写真は光の響

特別史跡「吉野ヶ里遺跡」において、弥生時代の『クニ』の中心的な集落を実物大で復元整備

営繕事業

まちづくりと調和した「官庁施設」づくり(官庁営繕)

国民の共有財産である官庁施設に関して、良質な施設及びサービスを効率的に提供し、公共建築分野において常に先導的な役割を果たします。

◆大分森林管理署(大分県大分市)

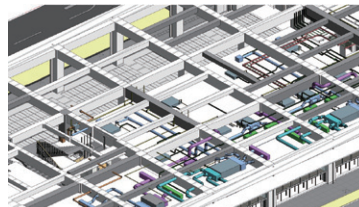
環境と調和した木材利用庁舎(令和7年度完成)



環境負荷低減に配慮した施設整備
(木造耐火建築物、内装の木質化)

◆福岡運輸支局(福岡県福岡市)

海の水平線、対岸の稜線と調和した庁舎(令和8年度完成予定)



BIM を活用した品質確保、生産性向上(3次元での部材調整、検証)

DX関係

DXや働き方改革の推進

インフラ分野のDX推進

データとデジタル技術を活用し、建設業や職員の働き方を変革することで、安全・安心で豊かな生活を実現するためDXの推進に取り組んでいます。

【災害対応のDX】

360°映像や三次元（点群）データ等を用いて、安全かつ正確に災害現場を把握し、早期復旧を目指します。

【バーチャルツアー】

UAV（ドローン）で撮影した上空からの360°映像を組み合わせ、上空の様々な視点から現地を確認できます。



360°映像



三次元（点群）データ



SVT画像



令和6年能登半島地震被災状況ポータルサイト

【メタバース（仮想世界）を用いた合意形成】

インフラ整備後の内容をリアルな3Dモデルで作成し、VRによる仮想世界で関係者への事業説明に役立てています。

※DX（デジタル・トランスフォーメーション）：進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること

VRを活用した地元説明会



九州インフラDX推進室

Kyushu Infrastructure Digital Transformation office

インフラ分野における九州地方整備局のDXの様々な取組を紹介しています。



九州インフラDX推進室HP

i-Construction2.0の推進 i-Construction

これまで進めてきたi-Constructionの取組を深化し、更なる抜本的な建設現場の省人化対策を「i-Construction2.0」として建設現場のオートメーション化の実現に取り組んでいきます。

【i-Construction2.0～建設現場のオートメーション化～】

3次元設計の標準化 BIM/CIM 	建設機械施工の自動化 	デジタルツインを活用した施工シミュレーション 	
3次元データをやりとりする大容量ネットワーク 	プレキャスト部材の活用 	遠隔臨場 ステレオカメラ 受注者1名 現場作業員 ウエアラブルデバイス（眼鏡・姿勢） 	遠隔操作ロボット活用 障害発生！ 設備状況をリモートで監視可能 

i-Construction2.0 で実現する目標

省人化

- ・持続可能なインフラ整備・維持管理体制の構築
- ・少なくとも省人化3割、すなわち生産性1.5倍を実現

安全確保

- ・建設現場の死亡事故を削減

働き方改革・新3K

- ・屋外作業のリモート化・オフサイト化

道路事業

社会資本整備の戦略的かつ計画的な推進

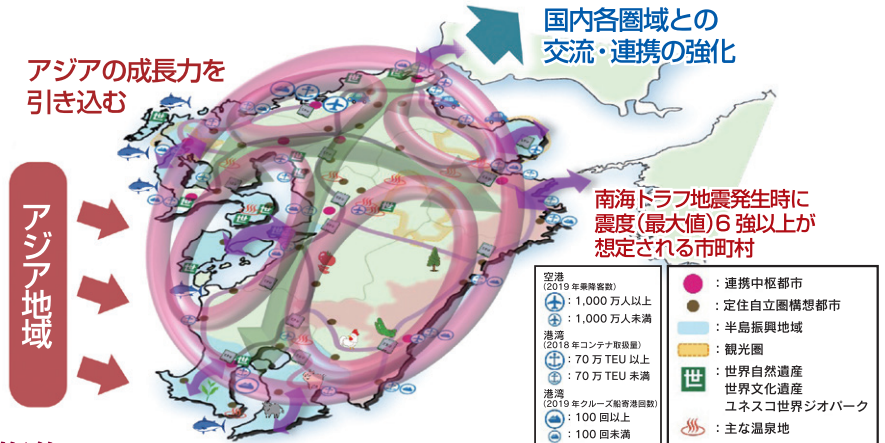
新広域道路交通ビジョン・計画

九州の将来像実現に向けた広域的な道路交通の今後の方向性を定める「新広域道路交通ビジョン・計画」を策定(R3.7)しました。「クロス」を中心とする骨組みを軸に、いくつもの「リング」を形成し、九州全域に広域な道路ネットワークを行き渡らせるとともに、災害に対するネットワークの強靱化を図ります。

『クロス』から『リング』へ 九州リングネットワーク

■『クロス』九州の南北・東西軸をつなぐネットワーク

■『リング』クロスを中心に、リングで新たに連携するネットワーク



広域道路ネットワーク整備の推進

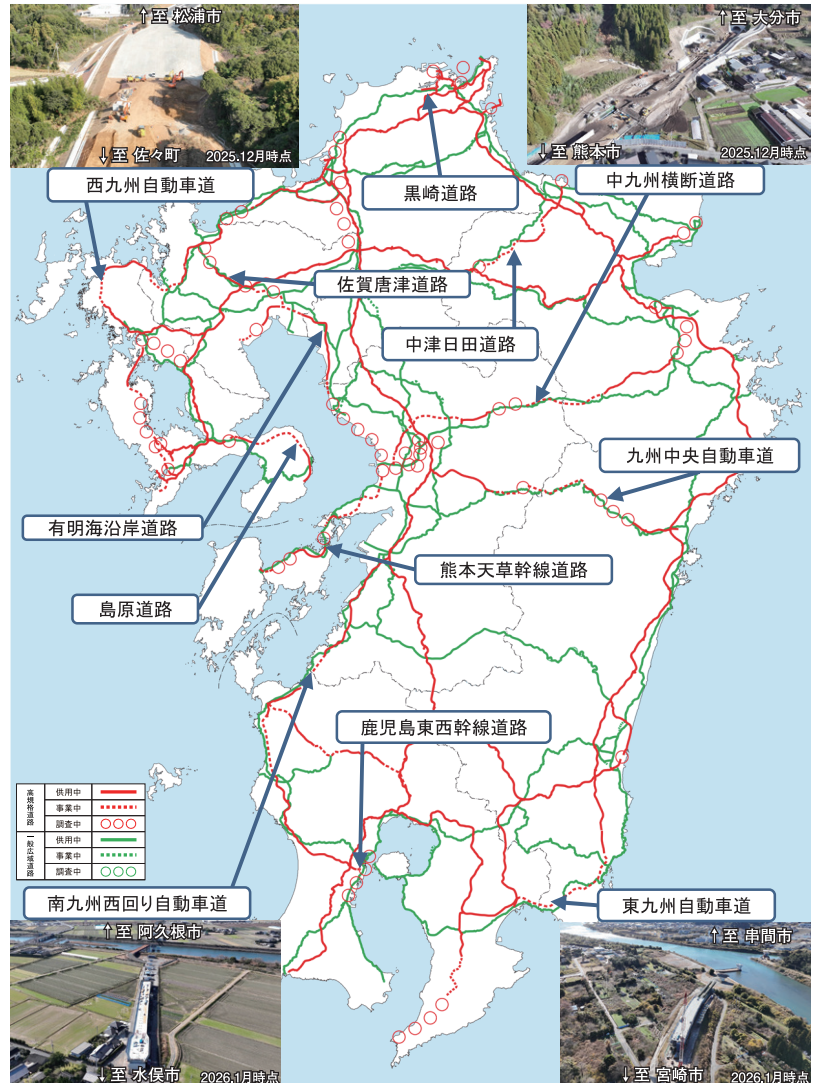
九州の道路ネットワークを整備し、交通渋滞の緩和等による迅速・円滑で競争力の高い物流ネットワークの実現を図ります。

また、シームレスな拠点連結型国土の形成を図るとともに、デジタル実装した社会を支え、人流・物流の円滑化・活性化を図るため、地域・拠点をつなぐ広域道路ネットワークの整備を推進します。

【主な事業中の高規格道路】

- ・九州中央自動車道
- ・東九州自動車道
- ・南九州西回り自動車道
- ・西九州自動車道
- ・黒崎道路
- ・鹿児島東西幹線道路
- ・中九州横断道路
- ・熊本天草幹線道路
- ・島原道路
- ・佐賀唐津道路
- ・有明海沿岸道路
- ・中津日田道路

総延長：約240km



国土交通省が今後目指す高規格道路ネットワークのあり方として、「2050年、世界一、賢く・安全で・接続可能な基盤ネットワークシステム」、通称「ワイズネット」を掲げております。

詳しくはコチラから⇒



防災・減災、国土強靱化の強力な推進(道路)

交通の安全安心確保

通学児童や歩行者等の安全・安心な歩道空間を確保するため、通学路対策等を推進します。



▲整備前



▲整備後

国道34号 長崎県長崎市

インフラの老朽化対策

急速に進む施設の老朽化に対応するべく、老朽化対策を推進します。対策にあたっては定期的な点検・診断により施設の状態を正確に把握することが重要です。



トンネル定期点検

九州道路メンテナンスセンターによる自治体への技術助言状況



効率化、省力化のためDXを活用



点検ドローン

操作者

無電柱化の推進

道路の防災性の向上、良好な景観形成・観光振興、安全で快適な通行空間の確保の観点から策定した無電柱化推進計画に基づき、推進します。

国道208号 福岡県大牟田市(船津地区)【事業中】



▲整備前



▲整備後イメージ

防災



大規模災害(地震、台風等)が起きた時、電柱倒壊による道路の寸断を防ぎます。

景観・観光



景観を阻害する電柱・電線をなくし、美しい景観を取り戻します。

安全・快適



電柱をなくし、歩道を広げることで、歩行者の安全性・快適性を確保します。

無電柱化は、3つの観点から求められています。

魅力ある地域づくり

「道の駅」第3ステージの取組の推進

「道の駅」の第3ステージとして、防災機能強化、地域センター化等に向けた取り組みを推進します。

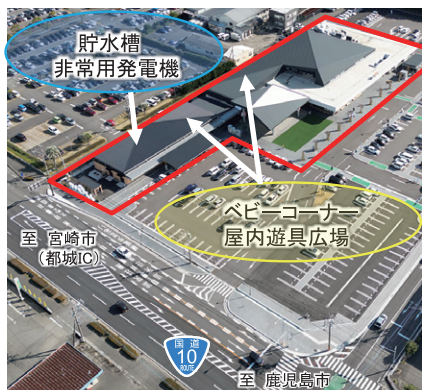
防災拠点化

防災機能強化

防災施設(貯水槽)



防災施設(非常用発電機)



道の駅「都城NiQLL」(宮崎県都城)令和5年4月のリニューアルに併せて、防災施設や子育て支援設備を整備しました。

地域センター化

子育て支援設備(授乳室)



子育て支援設備(屋内遊具)



・防災道の駅「うきは」より、被災地へ防災用コンテナ型トイレを派遣しました。

防災用コンテナ型トイレ外観



被災地での利用状況 (R6年1月能登半島地震 道の駅「あなみず」)



港湾空港事業

持続的な経済成長の実現

港湾の機能強化・航空ネットワークの充実

サプライチェーンの強靱化のため、国際コンテナターミナルや内航フェリー・RORO船ターミナルの機能強化により海運へのモデルシフトへの対応を推進します。

国際コンテナターミナルの利用状況(博多港)



RORO船ターミナルの利用状況(大分港)

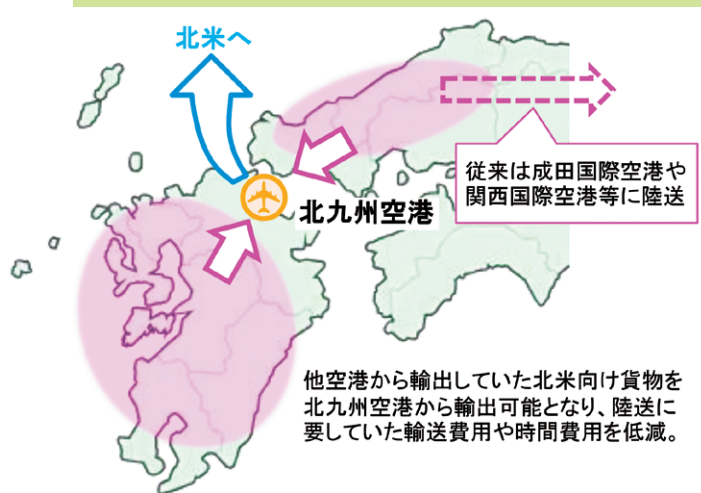


航空需要の回復及び増加を見据えた航空ネットワークの充実に対応するため、空港施設整備による空港の機能強化を推進します。

北九州空港の滑走路延長



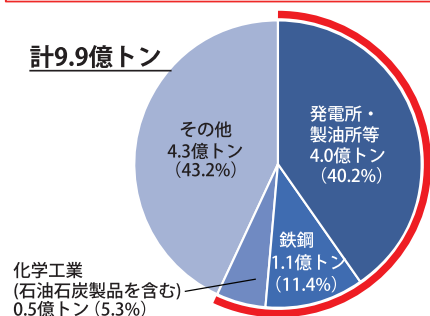
滑走路延長の事業効果



港湾におけるGXの推進

脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図るカーボンニュートラルポート(CNP)の形成、洋上風力発電の導入促進など、港湾におけるGXを推進します。

CO2排出量の約6割を占める産業の多くは、港湾・臨海部に立地



我が国のCO2排出量(電気・熱配分前)
(2023年度報告値、2025年4月25日公表)

出典: 国立環境研究所HP資料より、港湾局作成

多くの企業が集積する港湾・臨海部



港湾を拠点とした洋上風力発電の導入事例



(北九州港)

国民の安全・安心の確保

耐震強化岸壁の整備

南海トラフ地震等大規模地震の発生が危惧される中、海上からの人命救助や緊急物資輸送を支えるため、海上交通ネットワーク維持に向けた耐震強化岸壁の整備を推進します。

耐震強化岸壁の整備状況(八代港)



2020年10月に供用開始した
耐震強化岸壁

耐震強化岸壁と通常の岸壁の比較(仙台塩釜港)



津波・高潮対策等の推進

港湾海岸の背後地には人口や物流・産業・市街地機能が高度に集積しており、津波及び高潮・高波による浸水被害を防止・軽減するため、護岸・陸閘・水門といった海岸保全施設の整備を推進します。

護岸整備状況(大分港海岸)



整備区間と未整備区間の防護状況の比較(下関港海岸)



個性をいかした地域づくりと持続可能で活力ある国づくり

地域の基幹産業の競争力強化のための港湾整備

国際バルク戦略港湾における資源・エネルギー・食糧の安定供給に向けた取組や、離島における住民生活の安定の確保のため、航路の就航率向上、人流・物流の安全確保のための港湾整備を推進します。

国際バルクターミナルの整備状況(志布志港)



離島ターミナルの利用状況(名瀬港)



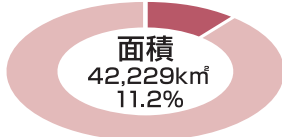
九州の特徴と将来像

九州地方の現状

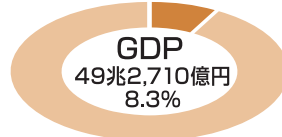
全国に占める、九州地方の人口、面積、域内総生産(名目GDP)、製造品出荷額は、1割程度です。九州の恵まれた地理的環境を活かし、成長が期待される産業を今後発展させるためにも、人流・物流のネットワーク整備、すなわち社会資本整備が必要不可欠となっています。



出典:令和7年1月 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(総務省)



出典:令和7年10月 全国都道府県市区町村別面積調(国土地理院)



出典:令和4年度 県民経済計算(内閣府)

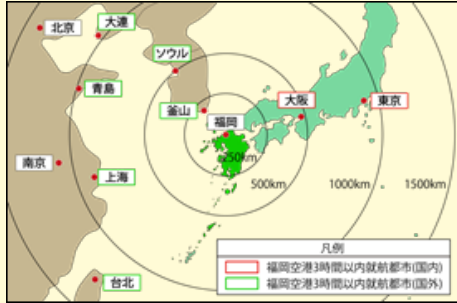


出典:2024年経済構造実態調査 製造業事業所調査(経済産業省)

九州の主な特徴

アジアの玄関口

◆東アジアの概ね中心に位置している九州は古来より、アジア等の海外から人・物・情報を取り入れ、全国に伝えていくゲートウェイの役割を担ってきました。

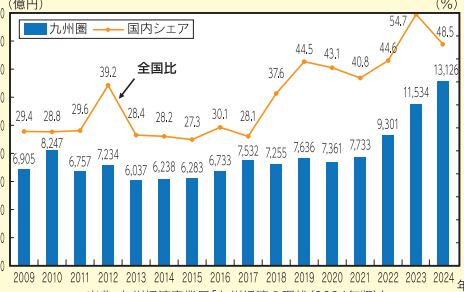


出典:九州地方整備局「九州圏広域地方計画 中間とりまとめ(案)概要版」
地理的にアジアの玄関口に位置する

成長期待産業が集積

◆九州のIC(集積回路)生産金額は、国内シェア約50%(2024年)と高く設備投資も活発化しています。

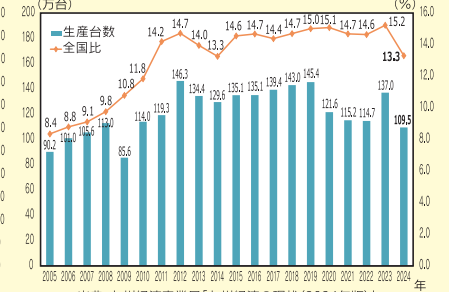
〈九州のIC生産金額・国内シェアの推移〉



出典:九州経済産業局「九州経済の現状(2024年版)」
IC(集積回路)生産金額の国内シェアは約50%

◆九州の自動車産業は完成工場の立地に伴い、部品の製造・加工等を担う自動車関連企業の集積が北部九州を中心に進んでいます。

〈九州の四輪自動車生産台数・国内シェアの推移〉

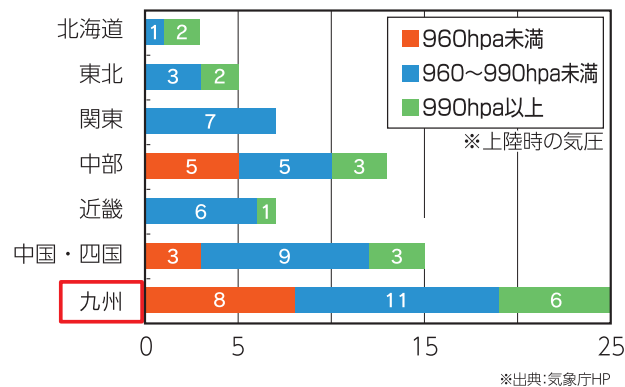


出典:九州経済産業局「九州経済の現状(2024年版)」
四輪自動車生産台数の国内シェアは約15%

九州の多様な災害リスク 〈台風・大雨・火山噴火・地震〉

九州地方は、国内の他地域と比較して、台風の上陸回数が多く、火山活動が活発であるなど災害リスクが高くなっています。

◇地域別台風上陸回数(2001.1~2025.12) ◇活発な火山活動(2026年1月28日現在)



九州地方は、全国で111ある活火山のうち、17の活火山を有しています。また、気象庁が発表している噴火警報レベルが2以上の活火山を複数有しています。

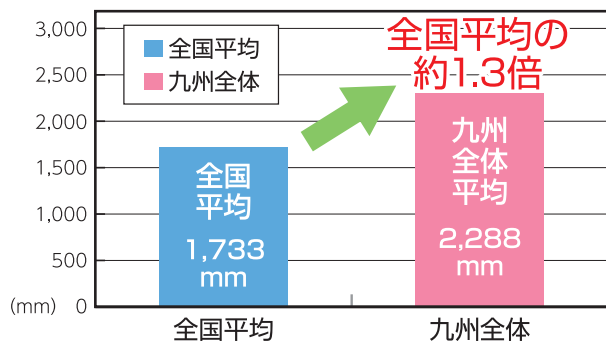
桜島	レベル3
霧島山(新燃岳)	レベル2
諏訪之瀬島	レベル2
薩摩硫黄島	レベル2
雌阿寒岳	レベル2
草津白根山	レベル2
岩手山	レベル2
浅間山	レベル2
焼岳	レベル2

噴火警報レベル2以上の全国9火山のうち九州に4火山

参考 レベル5(避難)
レベル4(高齢者等避難)
レベル3(入山規制)
レベル2(火口周辺規制)

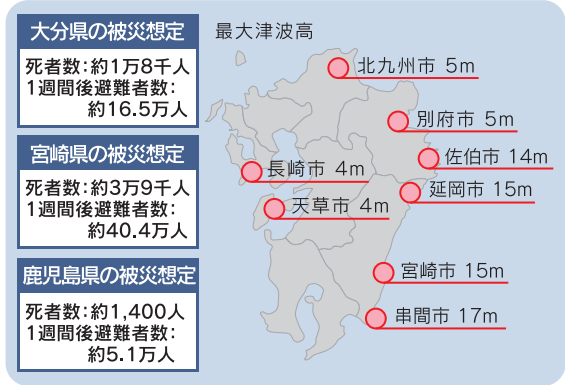
出典:気象庁HP

◇降水量(年平均降水量)



※出典:令和7年度版日本の水資源の現状(1992~2021年の平均値)

◇南海トラフ巨大地震の最大津波高と被害想定



出典:南海トラフの巨大地震モデル被害想定手法検討会資料(R7.3)

九州の将来像

九州圏広域地方計画(第三次)

【将来像】アジアの成長センター『アイランド九州』

～個性・魅力を発揮しながら、ひとつにまとまり発展し、誇れる九州～

第三次九州圏広域地方計画は、国土形成計画法に基づき令和5年7月28日に閣議決定された「第三次国土形成計画(全国計画)」を受けて、九州ブロックの自立的発展に向けた今後概ね10年間のブランドデザインをまとめたもの。

※2026年4月現在策定中

将来像実現に向けた3つの目標

目標1 成長エンジン『アイランド九州』～交流と変化を競争力へ～

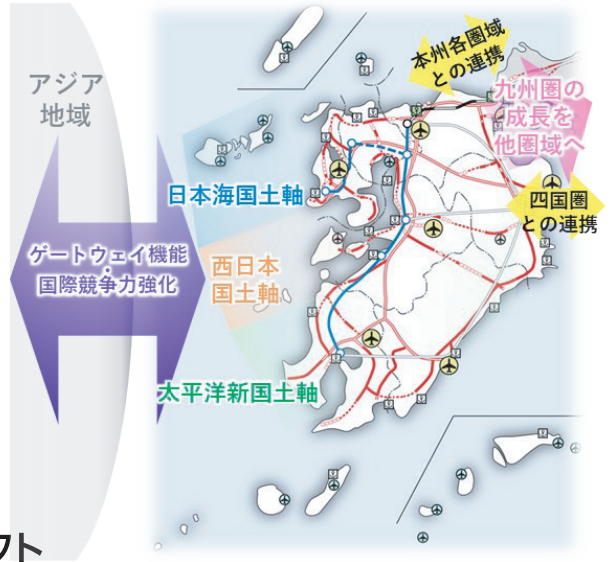
ゲートウェイ機能を強化し、国際競争力の向上とイノベーションによる新たな産業を創出することで、圏域内の経済や暮らしを成長させ、その効果を国内他圏域へ拡大する重要な役割を果たす。

目標2 自立型広域連携『アイランド九州』～快適で幸福な暮らしへ～

幸福度の高い魅力的な生活環境を構築するため、デジタルとリアルが融合した都市の利便性と地方の快適性が共生した地域生活圏の形成を目指す。

目標3 強く美しい『アイランド九州』～持続可能でしなやかな社会へ～

強靱な九州圏を構築するとともに、美しい自然を保全し、環境負荷の少ないカーボンニュートラルの実現をリードする、強く美しい圏域を目指す。



目標を達成するための7つの広域連携連プロジェクト

PJ1
アジア、そして世界と日本の交流・連携・成長拠点プロジェクト
 国際物流ターミナルの整備による国際船舶貨物輸出を強化する取組
 【博多港アイランドシティコンテナターミナル】▶

PJ5
離島・半島・中山間地域・都市をつなぐ地域生活圏形成プロジェクト
 地域生活圏形成に向けた取組
 【長崎県五島市のドローン配送】▶

PJ2
ひとつにまとまり活力を創出する交流・連携プロジェクト
 ネットワークの高質化に向けた取組▶

PJ6
経験をいかした防災と豊かな環境の保全・創出プロジェクト
 国土強靱化に向けた取組
 【流域治水イメージ図】▶

PJ3
強みや特色をいかした持続可能な産業振興プロジェクト
 『新生シリコンアイランド九州』実現に向けた取組の一例
 【くまもと半導体産業推進ビジョン】▶

PJ7
国内他圏域との連携プロジェクト
 インバウンド・国内観光客の誘致・滞在長期化に向けた取組
 【西のゴールデンドル】▶

新たなJAPANを開拓せよ。

PJ4
中枢中核都市を核とした魅力あるまちづくり推進プロジェクト
 都市機能を強化する取組
 【天神ビッグバン】▶

九州圏広域地方計画ホームページ
<http://www.qsr.mlit.go.jp/suishin/>

九州圏広域地方計画 検索

災害からの復旧・復興

緊急治水対策プロジェクト

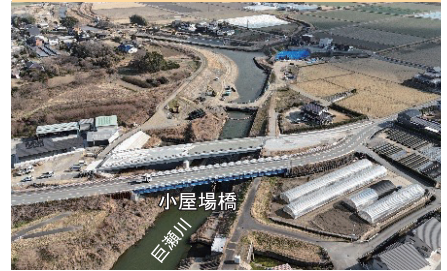
筑後川水系巨瀬川緊急治水対策プロジェクト(令和5年7月豪雨からの復旧・復興)

令和5年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、国・県・市等が連携し、河道掘削、築堤、樋門・樋管整備、橋梁改築、砂防堰堤整備等の取り組みを集中的に実施することにより、令和5年7月豪雨に対して、家屋など流域における浸水被害の軽減を図るとともに、土砂・流木災害を軽減し、強靱な地域づくりを目指します。

筑後川水系巨瀬川の被害状況(R5.7.10)



巨瀬川の整備状況(R8.1.27)



球磨川水系緊急治水対策プロジェクト(令和2年7月豪雨からの復旧・復興)

令和2年7月3日から8日にかけて、梅雨前線が停滞し、線状降水帯が九州で多数発生しました。球磨川では、大雨により氾濫が発生し、多数の浸水被害が発生しました。

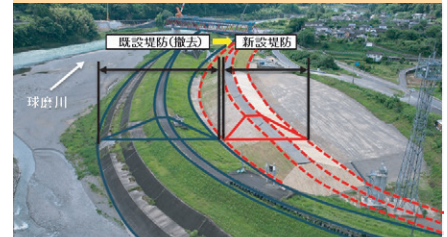
国、県、市町村等が連携し、球磨川の被災した箇所を、河道掘削、堤防整備、輪中堤・宅地かさ上げ、遊水地等の取り組みを集中的に実施することにより、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して、越水による氾濫防止※(人吉市の区間等)、家屋の浸水防止※(中流部)など、流域における浸水被害の軽減を図ることを目指します。

※従来から検討してきた貯留型ダム並びに再開発後の市房ダムによる洪水調節の効果を含む

球磨川の被害状況(R2.7)



引堤工事の施工状況(球磨村渡地区)(R7.7)



事前防災対策(防災・減災、国土強靱化対策などによる事業効果)

令和7年8月6日からの大雨により、緑川水系緑川の城南水位観測所では観測史上最高水位である7.49m、菊池川水系合志川の合志雨量観測所では24時間雨量で362mmを記録しました。

防災・減災、国土強靱化対策などで河道掘削や堰改築等の河川整備を進めていたことにより水位低減効果を発揮し、越水を回避することができました。

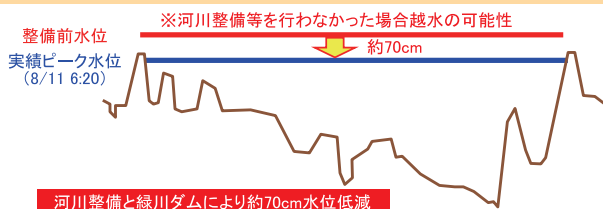
仮に、これらの河川整備等が無かった場合は越水していたことが想定され、多くの浸水被害が発生していた可能性があります。

- 緑川水系緑川では、緑川ダムによる洪水調節を含め、城南水位観測所上流(16.4k地点)において約70cmの水位低減効果を発揮
- 被害想定は浸水面積約450ha、家屋浸水約400戸(被害の軽減効果)

「緑川水系緑川」の整備状況(河道掘削)

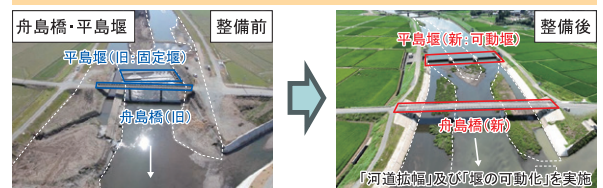


水位低減効果(16.4k地点)

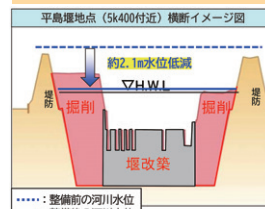


- 菊池川水系合志川では、平島堰付近(5.5k地点)において約2mの水位低減効果を発揮
- 被害想定は浸水面積約430ha、想定被害額約144億円(被害の軽減効果)

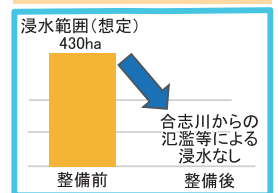
「菊池川水系合志川」の整備状況(固定堰改築及び河道掘削)



水位低減効果(5.4k地点)



浸水被害の軽減効果



令和2年7月豪雨からの復旧・復興

道路事業の取組

令和2年7月豪雨により被災した八代市～人吉市間の球磨川沿いの道路については、流失した橋梁10橋を含む国道219号や熊本県道等の約100kmを対象に国の権限代行により災害復旧事業を進めています。令和7年度までに西瀬橋・沖鶴橋・天狗橋・松本橋・坂本橋の5橋が順次完成し、国道219号（八代市渡町～坂本橋）の一般車両通行も可能となりました。現在は、残る5橋の上部工工事や道路復旧、かさ上げ工事を継続しており、引き続き早期復旧に全力で取り組んでまいります。



TEC-FORCEの取組

緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)は、平成20年4月に創設、令和7年6月に補強と多様な主体との連携を強化し、大規模自然災害が発生して自治体職員だけでは対応が困難な場合に、被災自治体を支援しています。被害状況を迅速に把握する防災ヘリによる上空調査や、TEC-FORCE、TEC-FORCEアドバイザー、TEC-FORCEパートナー等の派遣により被災状況調査、高度な技術指導、緊急対応等を実施し、被災地の早期復旧を支援しています。

令和7年新燃岳噴火への対応

防災ヘリによる新燃岳火口付近の上空調査(鹿児島県・宮崎県)



令和7年8月大雨への対応

ドローンによる被災状況調査(熊本県甲佐町)



令和7年トカラ列島群発地震への対応

TEC-FORCEパートナーとのカメラ設置作業状況(鹿児島県十島村)



TEC-FORCEアドバイザー等による被災状況調査(鹿児島県始良市)

